

# 北稜KESだより2021



第1号

京都府立北稜高等学校

令和3年 4月 23日 (金)

「北稜KESだより」では、北稜高校の環境に関する取り組みについてお知らせしていきます。第1号では、北稜高校が長年にわたって認証を受けている、『KES』がどういうものなのか、という点を中心にお伝えします！



## 『KES』って??

KESは『**K**yoto **E**nvironmental Management System **S**tandard (京都環境マネジメントシステムスタンダード)』の略号で、京都議定書<sup>\*1</sup>の発祥地である京都から発信された「環境マネジメントシステム<sup>\*2</sup>」の規格です。環境マネジメントシステムの規格としてよく知られているISO14001よりも取り組みやすい規格として誕生したのが『KES』です。

\*1 京都議定書……1997年12月に京都国際会館で開かれた地球温暖化防止に関する会議で採択された議定書です。地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減目標などが定められました。

\*2 環境マネジメントシステム……企業や団体等の組織が環境方針、目的・目標等を設定し、その達成に向けた取組を実施するための計画・体制・プロセス等のことです。

とても簡単にいうと、

**KES認証を受けている = 一定の基準を満たした環境保護活動をしている！**

と、ということです。



## 北稜高校の環境保護活動

北稜高校では、『環境宣言』に基づき、様々な環境保護活動に取り組んでいます。例えば、生ゴミをミミズの力で堆肥化して植物の栽培に使ったり、ゴーヤのグリーンカーテンを育てたり、生物多様性を守るために希少植物を栽培したり、ゴミの分別の徹底をしたり…。今は環境委員を中心とした活動が多いですが、KES認証を受けている北稜高校として、生徒1人1人が環境に対する意識を高め、行動していきましょう！『環境宣言』は、皆さんにClassiで配信しますので、よく読んでおいてくださいね！

北稜高校内の  
希少植物



フジバカマ



キクタニギク



フタバアオイ



## 季節の花を寄贈しました！

春休み中、有志の生徒たちで、周辺の施設である「フェアウインドきの」と「叡電木野駅」に季節の花を寄贈しました。この花々は、環境委員会の生徒たちが昨年度の秋にミミズ堆肥を利用して植え、雨水や地下水で育ててきたものです。毎年寄贈を続けており、今年も大変喜んでいただきました。また、叡電木野駅には北稜高校が設置した雨水タンクがあります。じょうろも備え付けてありますので、気が付いた方はぜひ水をあげてくださいね。



今年もきれいに咲きました！



リヤカーで運搬します。



「フェアウインドきの」

「叡電木野駅」

